実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

◎基本情報

	計	画	ベース	۲]
--	---	---	-----	----

	事業 区分	糸	迷続	事務署	事業名	地域子育	で支	援拠点事業	(民間	間施語	設活用	月)	担当 部署	健康福祉部 子どもいきいき課					
総食	今計画(* * *				o ±	- し竺 姑っ	5. 十 土 -	がいばじて士4	トベノ	11			根拠法 計画な		子ども・	子育て支援法			
			(大項 ¹ 項目)					がい感じるま <u>す</u> と歓声が聞こ			なると	. +	前 四省	I					
			·項目》			<u>こ 0/こうい</u> 童福祉	人员		<i>,</i>	<i></i>			事業	開始	平成	•		22 年度	
		施				童福祉の	推進						期間	40 Ha					
	追	本	事業		3 子	育て家庭へ	への支	泛援						終期	未定		•		
	第六次	マ総 台	計画	後期基 本	計画の	成長戦略に	核当の有	有無		✓	次期総	合戦	略掲載予定	官の有無		SRP2	020該当の有無		
	ふるさと	≤納₹	总寄附金	金等要求	ξ		ボートレー	-ス鳴門まちづくり	基金活	舌用予:	算要求								
@ :	事業概	要	(PLAI	N)															
Ē	①子育て家庭の負担感の軽減 ②子育て家庭の不安感の軽減 ③児童の健全育成の支援							事業 内容 (R1)	在育	①ひろば・出張ひろばの実施 在宅で子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子 育てに関する相談を行う場を提供する。 ②訪問事業の実施 生後4か月の子どものいる家庭を訪問し、子育てに関する相談や、子 育て支援サービスの案内を行う。									
	実施 方針	2 3 3	ひろばの実施 出張ひろばの実施 おめでとう赤ちゃん訪問事業の実施								近 (4)	婦及 赤ち	ニティ事業の実施 なびその家族の相談に応じ、子育てのアドバイスを行う。 いっん授業の実施 - 等に赤ちゃん授業を実施し、自己肯定感等を育む。				٥٠.		
	④にこにこマタニティ事業の実施 ⑤赤ちゃん授業の実施									当初					施を中断				
					指标	票名				平成29年	E度実績	平成3	80年度実績見込	令和元4	年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位	
	助指標		1 訪	問乳児	数					270			297		300	300	300	人	
	した事業の を示す指標		2 U	2 ひろば・出張ひろば開催日数					327			312			330	330	日		
ct: 1	11世紀		指標名						平成29年度実績		平成3	80年度実績見込	令和元年度目標		令和2年度目標	令和3年度目標	単位		
対象	成果指標 対象にどのような効 果があったか示す指標		ひろば・出張ひろば参加親子		⋛数			5,930			5,316	5,300		5,300	5,300	組			
			年度 平成29年度			Ę	平成30年度		- 令和		元年度		令和	和2年度	令和3年	丰度			
実			キャス (1) ひろばの実施 各年度の実施 (2) 訪問事業の実 (予定) 内容 (3) マタニティ事業 施		施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実 施		①ひろ ②訪問 ③マタ 施	いろばの実施 訪問事業の実施 マタニティ事業の実 赤ちゃん授業の実が			継続		継続					
-	上 坐 弗 ·	此 秘	,		年 度	Ę	71	的予算額	_		τ年度 <mark>i∙繰越</mark> 額	預等	全体-	予算額		令和2年度	令和:	3年度	
-		事業費推移 (千円)			計			14,480		62		3	14,5			14,542	14,5	14,542	

<mark>事務事業名</mark> 地域子育て支援拠点事業(民間施設活用)

事業 実施 内容

令和元年度実施内容

「にこにこ広場」は鳴門市内の子育て家庭に広く根付いてきている。また、「出張にこにこ広場」も地域の子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場となっている。

また、新たに赤ちゃん授業を実施することで、「自分が産まれたときの家族の気持ち」や「赤ちゃんへの接し方」を小学生等が知り、自己肯定感の醸成や命の大切さを学ぶ機会となった。

「赤ちゃん訪問事業」では、本市の子育て支援事業全般の案内を実施し、保護者の育児不安の軽減に繋 げた。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3月に事業を中断したことで、在宅で子育てをする家庭からは事業の再開を望む声が寄せられた。

			指標名		平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位	
活動指標	-	1	訪問乳児数		297	207	300	300	300	人	
実施した事業の活動量を示す指標		2	ひろば・出張ひろば開催日	日数	312	283	330	330	330	H	
成果指標 対象にどのような 果があったか示	C 交功	ひ	ろば・出張ひろば参加親]子数	5,316	5,483	5,300	5,300	5,300	組	
指標			目標達成率(実	漬/目標)		103.5				%	
			年 度		令和元年度決算						
			十	平成30年度決算	前年度からの繰越決	算額 決算	算額令	和2年度への繰起	越額 最終事	事業費	

(円)

	年	平成30年度决算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
計		14,400,000	0	14,542,000	0	14,542,000
	国庫支出金	4,224,000	0	4,312,000	0	4,312,000
財	県支出金	4,224,000	0	4,312,000	0	4,312,000
源	地方債	0	0	0	0	0
内	使用料•手数料	0	0	0	0	0
訳	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,952,000	0	5,918,000	0	5,918,000

◎評価(CHECK)

THE 1	•							
今年度の	進捗状況	計画ど	おり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		
	指標名	ひろば・出張ひろ	ば参加親子数		事業は子育て家庭同士の交流の場、子育て家庭 の相談の場として定着している。令和元年度は新 型コロナウイルス感染症の影響で事業を中断せさ			
成果指標に対 する評価	目標	5,300	組	成用指揮に対				
	実績	5,483	組	する所見	るを得ない状況となり、十分な事業を実施できな			
	評価	B:概ね目標を	達成できた		かった。			

◎今後の方向性(ACTION)

課題

今後も急な事業中断の可能性があり、利用者への周知方法について工夫が必要。

今後の方向	向性 1.廃止 2.要改善 3.現状維持 4.拡充 3									
↓今後の方向	性を踏	性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。								
実施内容	令和2年度 継続して事業に取り組む。多くの方に利用してもらえるよう事業の周知等を図る。									
	令和	3年度	継続して事業に	取り組む。						